

砂名の ベトナムに乾杯

第38回 活躍している俳優さんたちを大河で観る楽しみ

昨年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は、中世の暗黒ドラマにドギマギし、時には切なく時には感動に涙し、笑いとペース満載の三谷節に魅了され、最後まで楽しく視聴しました。角打ち【日本酒で乾杯!】時代の常連の方で、ずっと大河ドラマを観ておられる歴史好きの方がいらして、良く話題に上っていました。

東京で私は舞台写真の撮影や制作業務を仕事にしておりますので、毎年、大河ドラマに出演されている俳優陣の中に、舞台を撮影させていただいたことのある方が3~4名はおられ、現在も活躍してらっしゃるのを楽しみに拝見させていただいております。

ベトナムに来た頃はまだ、大御所の俳優の方たちが大河ドラマで活躍しておられましたが、それから7年が経ち、当時若手だった方たちが、今では大河ドラマで重要な役に抜擢され、素晴らしい演技をしておられるのを拝見して嬉しく思います。「鎌倉殿の13人」の脚本を担当された三谷幸喜氏は元々舞台の方なので、キャスティングは舞台の俳優さんや、三谷さんの舞台や映画でたびたび起用される方たちが多く出演してお

れました。

私が撮影させていただいたことのある俳優さんたちのうちのお一人、「阿野全成」を演じた新納慎也さんはミュージカル俳優で、ニーノという愛称でファンたちに愛されています。「70's ロックミュージカル・ガラ『GENERATIONS』」では、まるでデビッド・ボウイばりのカッコよさ、美しさで登場したニーノに、撮影した枚数がいつもの倍になったの言うまでもありません。

また「堤信遠」役の吉見一豊さんは、演劇集団 円の紀伊国屋ホールでの公演「ファウスト〜Faust〜」を撮影させていただきました。刑事ドラマなどにもちょくちょく出ておられ、地味

ながらも渋い役柄で光っておられます。

俳優座劇場での公演「GIFT」では、後鳥羽上皇の乳母役で北条政子と対決する西の女傑「藤原兼子(二位卿)」役を演じたシルビア・グラブさんを撮影させていただきました。彼女はスイス人の父親と日本人の母親を持つミュージカル女優さんです。初めてファインダー越しに覗いた時、その凛とした佇まい、遠くまで伸びる澄んだ歌声に、鳥肌が立ったのを覚えています。お


稽古の後の食事会には男前な一面も覗く素敵な方です。夫は高嶋政宏さん。

そして比企能員の妻で、二代鎌倉殿「源頼家」の乳母「道」を演じた堀内敬子さん。ユーミンソング・ミュージカル ガールフレnds (2006年12月) 作詞作曲: 松任谷 由実/作・演出: 馬場 康夫/企画・原案: ホイチョイ・プロダクションズで、主演の真理子役を、華原朋美さんとWキャストで演じられました。私は舞台背景とプログラム写真、ゲネプロを撮らせていただきました。その舞台を三谷幸喜さんがご覧になっておられ、堀内敬子さんを見初められ、後に自身の舞台や映画に起用されたということ、舞台が終わってから聞きました。その舞台には故安倍晋三元首相も昭恵夫人とご一緒にいらしておられました。

そんなことを懐かしく思い出しながら、始まったばかりの今年大河ドラマ「どうする家康」もまた、ホーチミンで楽しく視聴しております。



「ユミンソング・ミュージカル ガールフレnds」
華原朋美さんとWキャストで演じた堀内敬子さん。
(2006年12月)



月森砂名(つきもりさな)

奈良県出身。同志社大学卒業。2015年、ベトナム初の角打ち【日本酒で乾杯!】に続き、2020年、Pham Viet Chanhにて日本酒専門の「角打ちのある酒屋」【蔵 KURA】をオープン。経営に携わる。東京で舞台撮影や制作の仕事をする傍ら、作家活動を行う。2009年よりNPO法人 Layer Boxにて、日本の伝統文化について、大学、高校、専門学校とともに、PV、3D、CGなどのコンテンツ制作および世界発信を行う。